

第3回秋田県公立高等学校入学者選抜に係る
検討委員会 議事録（概要）

秋田県教育委員会

第3回秋田県公立高等学校入学者選抜に係る検討委員会議事録（概要）

- 1 期 日 令和元年9月26日 木曜日
- 2 場 所 秋田県地方総合庁舎6階 総601会議室
- 3 開 会 10時00分
- 4 閉 会 12時10分
- 5 出席委員 高橋 秀晴 田仲 誠佑 石郷岡仁司 野村 重公
稲荷 一清 鈴木 康 安田 浩幸 菅原 勉
檜尾 尚樹 難波 文彦 古谷 昌規 石嶋勝比古

6 教育庁（事務局）出席者

教育次長	渡部克宏	義務教育課長	石川政昭
高校教育課長	伊藤雅和	保健体育課長	高橋周也
義務教育課副主幹	畑 朋幸	義務教育課副主幹	櫻庭直美
高校教育課主幹	瀧澤徳彦	高校教育課副主幹	荒川正明
高校教育課副主幹	藤澤 修	高校教育課副主幹	下橋 実
高校教育課主任指導主事	勝又貞臣	高校教育課指導主事	根守 潤
高校教育課指導主事	柏谷浩樹		

7 次第

- (1) 開会
- (2) 県教育委員会挨拶
- (3) 報告
 - ①前回の検討委員会の協議内容について
 - ②くくり募集の状況について
 - ③秋田県教職員組合及び秋田県高等学校教職員組合からの要望書等について
- (4) 協議
 - ・モデル案の検討
 - ・2次募集の在り方（特に出願の条件）について
- (5) その他
- (6) 閉会

第3回秋田県公立高等学校入学者選抜に係る検討委員会

協議の要旨

○委員からの意見

- ・前期選抜から特色選抜に移行した場合、募集人員はある程度上限・下限がなければ、入試制度全体に影響が出る可能性があるため、県としてある程度コントロールする必要があるのかと思う。
- ・現在の前期選抜の流れを組むとすれば、特色選抜では面接があったほうが学校によっては有効な選抜資料になると思う。
- ・面接の指導上の効果が非常に大きいので、中学校としてはできれば特色選抜・一般選抜どちらでも課してほしい。
- ・当初は、特色選抜の面接では部活動のことや本人の深いところを聞いてみたい、しかし一般選抜では面接はやらなくてもいいと思ったが、特色選抜で不合格だった受検生を一般選抜で選考するとなった場合、片方の面接しかやっていると評価が難しくなる。その点を考えると、両方で面接を実施したほうが良いと考える。
- ・面接はあったほうが良いというのが、大方の委員の意見だと思うが、特色選抜と一般選抜の両方で面接をやるとなり、また併願ともなった場合、人数も増え、非常に大変になるのではないかと思う。
- ・遠方から来る受検生に2日間来てもらうことは厳しいと思うし、また何らかの事情で2日目を休んでしまったということがあると、選考が難しくなるなど、いろいろなケースが考えられるので、1日が望ましいのではないかと思う。
- ・併願が可能であれば、ほとんどが併願してくると思う。特色選抜は面接を行う方向なので、かなりの人数が面接を受けると思うが、一般選抜では面接を行わないかということは一考に値するので、全員行ったほうが良いと思う。
- ・特色選抜の配点基準において高校の特色を出すことは必要だと思うが、ある程度の上限・下限も必要ではないかと思う。
- ・保護者としてはあくまでも学校側に添う形だが、学校を選ぶときには、分かりやすく、ある程度の配点基準があったほうが選びやすい。
- ・特色選抜の配点基準については、合計点に違いがあっても、比率で捉えていくと、それぞれの高校がどこに重点を置いているかを中学校では保護者に説明できる。
- ・現行の一般選抜では3年次の調整評定値を選抜に用いているが、中学校3年間、勉強も部活動も頑張っているということを見ると、1・2年次の評定も選抜に反映させたほうが良いと思う。
- ・一般選抜は現行制度と同じように、学力検査がある教科とない教科では評価が違ってもいいのではないか。また、今までは1・2年次の成績が3年次に現れるから、3年次の評定で調整評定値を算出してきたと思うが、3年間にきちんと評価するほうが良いのではないかと思う。

- 現行では前期選抜の後に一般選抜なので、特色選抜から先に選抜するというイメージがあると思うが、同じ日に両方実施するとなった場合、先にどちらを選抜するかというのはその学校の考え方だと思う。
- どちらを先に選抜するかは高校の自由度があると思うので、なかなかここで一律には決めづらいのではないか。中学生への指導という点でも、特色選抜と一般選抜があり、さらに併願もと、いろいろな選択肢があり、合格の発表の仕方にも関わってくるので、トータルを考えていかなければならないと思う。
- 特色選抜に手を挙げる受検生は特色の部分を認めてもらいたく、そこで伸びようと考えて受検と思うので、どちらの選抜で受かったのかが分からないとモチベーションのもち方も違うと思うし、自分の頑張りが特色で評価されたのか、特色では駄目だったけれども学力は認められて入ったのか、そこは評価してほしいという思いがある。
- どちらの選抜で受かっても合格には変わりなく、公表することが足かせになってしまうようなことも考えられるので、どちらで受かったかは分からない形でもいいのではないか。